

平成 27 年度 第 2 回日進市社会教育委員会 議事録

日 時 平成 27 年 12 月 16 日（水）
午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

会 場 日進市民会館 2 階会議室

出席者 宮澤明倫会長 福岡克二副会長 伊藤忠委員 川本秀美委員
鬼頭さる子委員 石川錬冶委員 関根聖美委員 中村正子委員
松岡坂重委員 松崎貞則委員 八田純子委員

欠席者 なし

事務局 吉橋教育長 西村教育部担当部長
（生涯学習課）服部課長 大鐘課長補佐 荒川係長 福岡主事
（図書館） 市川館長 丹羽主幹

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

議 題 1. 社会教育関係事業について（生涯学習課・図書館）
2. 市民会館大ホール文化事業候補の選定について

報告事項 1. 県社連および県公連関係の実績報告について

発言者：発言内容

事務局：定刻となりました。ただ今より、平成 27 年度第 2 回日進市社会教育委員会を開催いたします。本日は、皆様お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。では、はじめに宮澤会長、ごあいさつをお願いします。

会 長：—あいさつ—

事務局：本日の委員会は、本委員会規則第 6 条により、委員の出席者が半数を超えておりますので、成立いたします。次に、会議録でございますが「日進市附属機関等の会議の公開に関する要綱」第 3 条に基づきまして、公表させていただきます予定となっており、議事の記録のために録音機を使用させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは議題に入ります。規則第 4 条によりまして、会長に議事の取り回しをお願いいたしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

議 長：では、議題に沿って進めてまいります。
初めに「議題（1）社会教育関係事業について」事務局より説明願います。
まずは生涯学習課関係部分についてお願いします。

事務局：—議題（1）の説明・生涯学習課関係部分—

議長：ただいまの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

委員：市民体力テストについて、事業開催にあたり損害保険に加入していると思われますが、この事業のみが対象の保険なのか、これに限らず年間を通じて加入している保険なのか、どちらでしょうか。また参加者のケガが想定されますが、医療従事者の配置はしていますか。

事務局：当日はケガ等の発生を想定し、市保健センターの保健師2名が常駐しています。保険に関しましては、市が年間を通して加入している損害賠償保険の対象事業に社会体育事業も含まれていることから、不測の事態が発生した場合には、この保険で対応することができます。

委員：シルバースクールについて、実施校となっている梨の木小学校は、地域の皆様が活動することができる部分が校舎西側に設けられており、自由に学校敷地内に入出りできる構造です。この点に関して、子どもの安全が確保できるのかという意見が保護者から寄せられることから、ビデオカメラの設置をしています。しかし、映像を見るモニターが無く、校務主任のパソコン1台のみが映像を確認できます。出入り口に門扉をつけることは、シルバースクールを含めた地域開放事業の観点からはそぐわないということから、現状維持での児童の安全確保を考えていく必要があります。せめてモニター設置ができればよいと考えます。長久手中学校には、門扉付近にビデオカメラが設置されており、職員室内には映像確認用のモニターが設置してあります。常時録画されており、侵入者を容易に発見できる状況です。予算の確保が必要なので難しい事案ですが、市のお考えはいかがでしょうか。

事務局：学校施設の維持管理を担当している教育総務課、また小中学校安全衛生委員会の事務局である学校教育課との協議・検討が必要です。小中学校の防犯カメラについては、設置に関する意見も寄せられており、課題となっている状況です。出入り口が複数あり、学校開放事業や生涯学習課の関連事業の観点からも内部で協議を進めていきます。時期がいつになるかということはこの場ではお話できませんが、ご意見として承ります。

委員：にっしん市民教室について、年10回開催の講座が16講座ありますが、資料に記載の受講人数は全講座の延べ人数の合計でしょうか。

事務局：各講座の定員に対する受講者数の合計なので、実人数となっております。

委員：ということは、全16講座あり、各講座の平均受講者が約40人ということでしょうか。

事務局：そのとおりです。ただし、定員の設定が講座ごとに異なりますので、一概

に全ての講座の受講者数が40人前後ということではありません。

議長：ありがとうございました。続いて、図書館関係部分についてお願いします。

事務局：—議題（1）の説明・図書館関係部分—

議長：ただいまの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

委員：NIS_LIVとは具体的にどういった活動のことをいいますか。

事務局：図書館で活動しているボランティアの集合体で、お話し会や修理、配架などの活動をしています。

委員：にっしん図書館サポーターズという人たちが活動していると聞きましたが、どういった人たちなのか。

事務局：「にっしん図書館サポーターズ」というボランティア団体です。読み聞かせをはじめとしたボランティア活動を行っています。

議長：すぐ対応できることとできないことがあると思いますが、我々が出す様々な意見の中から選択していただいて、順次進めていただきたいです。それでは議題1の全体を通して、ご意見やご質問等はありませんか。

委員：子ども大学にっしんについて、対象学年は何年生でしょうか。また会場までの送迎は保護者が行う必要がありますか。

事務局：4年生から6年生を対象としております。送迎については、お子さんと一緒に会場まで来て講義を見学される保護者の方もいますし、一度帰宅されて講義終了時に迎えに来る方もいます。ただし愛知工業大学の講座は八草キャンパスで行いますので、市役所に集合してもらい、市のバスで会場まで向かいます。

委員：以前お願いしましたが、市民会館のパネルが汚いので追加購入や修理して欲しいと希望していましたが、状況はいかがですか。

事務局：現状を指定管理者と生涯学習課の担当に確認のうえ、改めて個別に報告させていただきます。

委員：なるべく迅速な対応をお願いします。

委員：総合運動公園の施設について、キャンプ場をよく使うのですが、常設のテントが老朽化しているので直していただきたいということと、7月1日か

ら利用開始ということですが、7月上旬に利用すると煙火場のところに草がたくさん生えています。利用開始日の前までに草を刈ってもらうことはできますか。

事務局：そのような要望があったと指定管理者に伝えます。

委員：にっしん市民教室について、講座の内容に関するニーズはどのように把握していますか。「きっかけ作り」を目的としている事業ですので、にっしん市民教室をきっかけに様々なことに挑戦したいという多様なニーズがあると考えられます。

事務局：各講座の最終回に行うアンケートの中に、受講した講座に関する質問に加え、各参加者が学んでみたい事柄に関する質問を設け、今後の講座運営の参考にしています。講座のリニューアルに関しては、全てを一度に入れ替えることは難しいので、開催年数が長い講座や定員割れの講座から順次入れ替えていくよう検討している段階です。また、内容だけでなく土日や夜間といった開催時間に関するニーズにも応えられるように講座の開始時刻の調整を行っています。

委員：日進には男声合唱のグループがありません。おそらくニーズはあると思われますので、講座の最終回でのアンケートだけは拾えない隠れたニーズを探していただければよいと思います。過去に市民教室の講座の中に社交ダンスの教室がありました。今ではそこをきっかけとしてサークルが組織されました。しかし合唱はサークル等の組織化に至っていません。日進の文化を構成する要素として、ここが足りないと感じます。

委員：にっしんの文化祭や民俗芸能発表会を訪れた際に感じたことですが、これらは全て生涯学習課が関わって行われている行事であることを初めて知りました。これらの事業で歌や踊りを発表している人たちのほとんどがご高齢で、中年層はあまり参加していません。そのような年代の人たちも参加・発表が出来る場があればよいと感じました。

議長：委員の皆さま、多数のご意見ありがとうございました。次の議題に入ります。「議題(2) 市民会館大ホール文化事業候補の選定について」事務局より説明をお願いします。

事務局：—議題(2)の説明—

議長：それでは、ただ今説明のありました案件についてご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

委員：市内の中学校の吹奏楽部が全国大会で活躍するほどまで盛り上がっていま

すが、中学生を招待して本場のクラシックなどの演奏を聴かせる、といったことは可能でしょうか。

事務局：部活の顧問の先生をはじめとした各学校側との調整が必要となってきます。意見として承ります。

委員：今回6つの部門からの提案ということですが、「最低5事業を行う」ということは、このうち1つの分野が実施されない可能性もあるということですか。

事務局：予算などの折り合いがつけば、6つ以上の事業を行うことも可能です。部門ごとに必要な予算が異なってきますので「最低5事業」という条件にしています。

委員：子ども向け事業に関して、過去の販売実績はわかりますか。

事務局：平成17年度の実績が98.5%、18年度が99.6%、19年度が80.1%、20年度が71.4%、21年度が23.8%、22年度が54.3%、23年度が99.4%、25年度が98.4%、26年度が91.3%、27年度は29.6%です。

委員：全く人気が無いわけではなく、ある程度のニーズがあるようですので、事業を減らす場合には子ども向け部門の実施を要望いたします。

委員：今回提案があった候補の中から、予算や日程等の調整がついた公演を行うということですか。

事務局：候補にあがっている中から交渉を行い、費用によっては6つの事業ができるかもしれませんが、5つになってしまうかもしれないということです。

委員：では、今ここで要望等を出したとしても、実際に公演が実施できるとは限らないということですか。

事務局：ご意見として承ることは可能です。

委員：候補を選定するにあたり、入場料等の収入を考えて、多少の利益がなければいけないということですか。利益がない場合でも大丈夫ということですか。

事務局：場合によっては、赤字となる事業もあります。

委員：市民にとっては、安い金額で優良な公演を提供してもらえるとありがたい

です。例えば大学のオーケストラなどは安く呼べると思います。地元のビックバンドやオーケストラは交通費の面でも安価です。候補の選定の際には考慮していただければと思います。

委員：日進には多種多様な人材が揃っているようですので、そのような人たちに活躍の場を提供するという意味も含めて、安価で良質な公演が組めるのではないかと思います。

事務局：今回提案した事業以外にも、指定管理者が行う自主事業や市の他部署が行う事業などがありますので、その部分でも活用することができるかもしれませんので、それも含めてご意見として承ります。

議長：委員の皆さま、ありがとうございました。他にご意見等はありませんか。
(質疑なし)

ないようですので、次に進みます。「報告事項(1) 県社連および県公連関係の実績報告について」事務局から説明をお願いします。

事務局：—報告事項(1)の説明—

議長：ありがとうございました。最後になりますが、「6. その他」について、委員の皆様、事務局何かありますか。

事務局：—事務局より平成28年日進市成人式のご案内—

議長：これで本日予定されておりました議題につきましては、すべて終了いたしました。委員の皆様には、様々な貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただきましたご意見、ご要望等につきましては、可能なものから取り組んでいけるよう事務局の皆様によりしくお願いします。ここで事務局に返します。

事務局：会長にはスムーズな議事進行をいただきまして誠にありがとうございました。また、本日は、長時間にわたり慎重なご審議、ご意見、ご助言等を賜りありがとうございました。以上をもちまして、第2回社会教育委員会を終了します。ありがとうございました。

—15:30 終了—